

## 令和7年度 学校評価報告書

学校教育目標	ふるさと伊目の光となれ
--------	-------------

子供と教師が 目指す子供像	○仲間と共に本気で学ぶ子 ○元気いっぱい自分らしさを 発揮する子 ○勇気をもって挑戦する子 ○根気よく続ける子	目指す子供像	気力あふれる伊目っ子
------------------	---	--------	------------

めざす子供像を実現するための 今年度の経営の重点	<b>知【確かな学力】</b> ・効果的なICTの活用 ・自分の思いや考えを進んで 伝える ・見通しをもって主体的に 学習に取り組む	<b>徳【豊かな心】</b> ・相手を大切にした言葉遣い や行動 ・いつでも誰にでも 進んで挨拶	<b>体【健やかな体】</b> ・心と体が健康な生活習慣 ・楽しく運動 ・自分の身は自分で守る (災害時・けがのない生活)
-----------------------------	---	--	---

<b>【キャリア教育の全体目標】</b>			
〈育成すべき基礎的・汎用的能力〉			
他と関わる本気	自らを律する元気	立ち向かう勇氣	計画し、続ける根気

児童評価 A…85%以上 B…70%以上 C…50%以上 D…35%以上					
評価項目	そう思う、 だいたい そう思う	自己 評価	評価項目	そう思う、 だいたい そう思う	自己 評価
～教育目標「ふるさと伊目の光となれ」～ 伊目が大好きだ。	98.3%	A	自分の考えや思いを友達に伝えることができる。	89.5%	A
勉強や生活の中で、自分の決めた目標や自分がやり たいと思うことに進んでチャレンジしている。	89.7%	A	学習内容が分かるように自分なりに工夫して考えたり、 学習や宿題にねばり強く取り組んだりしている。	96.6%	A
楽しく、安心して学校に通っている。	100%	A	たくさんの本を読んでいる。	60.4%	C
友達をいじめていない。	96.5%	A	自分の分からないことを進んで調べたり、学習内容を 分かりやすくまとめたりするためにクロムブック を使っている。	91.4%	A
勉強や生活で困っているときに、すぐに先生に相談 することができる。	91.3%	A	休み時間には、進んで外で遊んでいる。	71.9%	B
いつでもどこでも進んであいさつをしている。	91.4%	A	手洗いやうがいを進んでするなど病気になるように 気を付けて生活している。	98.3%	A
授業が楽しい。	100%	A	道路を歩くときや自転車に乗るとき、学校生活の中な どで、けがや事故にあわないように気を付けている。	100%	A

保護者評価 A…85%以上 B…70%以上 C…50%以上 D…35%以上					
評価項目	そう思う、 だいたい そう思う	自己 評価	評価項目	そう思う、 だいたい そう思う	自己 評価
子どもたちは「ふるさと伊目」を愛し、地域や三世代交流事業の行事に積極的に参加している。	100%	A	子供たちは進んで読書に取り組んでいる。	73.5%	B
子供たちは、勉強や生活の中で、自分の決めた目標や自分がやりたいと思うことに進んでチャレンジしている。	97%	A	子供たちは、自分の分からないことをパソコンやスマートフォン、タブレットなどのメディア機器を使って進んで調べている。(家庭での様子から)	82.4%	B
子供たちは、楽しく、安心して学校に通っている。	100%	A	子供たちは、進んで外遊びや運動に取り組んでいる。	94.1%	A
学校は、いじめのない学校、学級、集団づくりに取り組んでいる。	94.1%	A	子供たちは、手洗いうがいを進んでするなど、病気にならないように気を付けて生活している	85.2%	A
子供たちは、勉強や生活で困っているときに、先生や親、友達等に相談することができる。	97.1%	A	子供たちは、けがや事故に気を付けて生活している。	97%	A
子供たちは、いつでもどこでも進んで挨拶している。(家庭・地域の様子から)	82.4%	B	学校・PTA・地域が協力して学校行事に取り組んでいる。	100%	A
子供たちは学習意欲をもって、楽しく授業に参加している。	97.1%	A	学校は、便りやホームページ、その他の方法で情報を発信している。	94.1%	A
子供たちは、自分の考えや思いを友達に伝えることができる。	91.1%	A	学校は、保護者や地域の話に耳を傾け、相談しやすい雰囲気がある。	100%	A
子供たちは課題に対して自分なりに工夫して考えたり、学習や宿題に粘り強く取り組んだりしている。	88.2%	A			

教職員評価
概ね子供たちの成長を評価しているが、「進んで挨拶する」、「進んで読書に取り組む」「けがや事故に気を付けて生活する」「自分の分からないことを、メディア機器を使って進んで調べる」の項目で、もっとできるのではないかとこの声があがった。

自己評価の考察
<p>【教育目標】の項目では、「ふるさと伊目」を大切に思い、地域の行事に積極的に参加している児童の割合が高いことが分かった。</p> <p>【学力向上】の面では、自分なりに工夫しながら、楽しく学習に取り組むことができているが、読書に関して消極的な児童、自分の分からないことをタブレット等で調べることが苦手な児童、自分の考えを友達に伝えることを苦手とする児童が多かった。</p> <p>【豊かな心】の面では、児童全員が学校に安心して通うことができているが、困ったときに相談できずにいる児童がいることが分かり、一人一人への声掛け・見守りの必要性を感じた。また、少数ではあるが、いじめをしてしまったという児童がおり、今後もいじめのない学校づくりに、組織的に取り組んでいく必要がある。挨拶については、しっかりできていると感じている児童が多いが、教職員や保護者の多くはもっとできるのでは、と感じており、児童の感覚と、大人の感覚にずれがあることが分かった。</p> <p>【体力向上】の面では、体力向上への意識を高めていくことや、自分の健康・安全のために、けがに気を付けて落ち着いて生活することができるようにしていく必要がある。</p>

学校関係者評価の結果（令和8年2月6日 第4回学校運営協議会）
<p>【本に触れる機会を増やすために】 図書室の本は充実していることがうかがえる。授業の中で物語本はもちろんだが、辞書や百科事典などを用いて調べるなど利用する機会を増やすことはできないかという意見が出された。</p> <p>【いじめについて】 月に一回、いじめに関するアンケート等を取ったり児童と面談したりしていじめ防止に取り組んでいることが分かった。この取り組みは今後も継続してほしい。</p>

次年度に向けての改善方策
<p>今後も子供たちが安心して通うことができる、いじめのない学校づくりのために、令和7年度の間「伊目小学校いじめ防止基本方針」の見直し、修正を行う。また来年度も引き続き生活アンケート（いじめアンケート）を月1回行い、いじめの早期発見に努めるとともに、児童相談日として児童の話を積極的に聴く場を設定する。小規模校という伊目小の特徴を生かし、一人一人の変化を全職員で見守り、声掛けをしていく。</p> <p>挨拶については、子供たちにアンケートを実施し、子供たちの挨拶に関する意識や実態を把握し、指導に生かす。来年度は2回の挨拶集会を実施し、挨拶の大切さを伝えたり、各学級で指導をしたりしていく。毎学期、「挨拶」を生活のめあての重点とする月を設定し、意識付けを図る。</p> <p>読書への取り組みとしては、子供たちが学級文庫を選べるような機会を設定したり、授業の中で本を読む活動を取り入れたりとすることで、本を身近に感じ、本に親しむことができるようにしていく。今後も保護者ボランティアによる読み聞かせや、図書委員会によるイベントを積極的に行っていく。</p> <p>けがや事故の予防に関しては、養護教諭による保健指導や、健康体育委員会の活動を活用する。廊下を走らないことや周囲に気を付けて生活することなど、子供たちへの意識付けを図る活動を行っていく。また、全職員が共通認識をもち、進んで児童への声掛けをしていく。子供も職員も、時間にゆとりをもって行動するよう声を掛け合うことで、けがの予防につなげていく。</p> <p>子供たちの主体的な学習につなげることができるよう、授業の中でタブレットなどのICTを効果的に活用していく。また、週1回のICTタイムを通し、情報モラルを計画的に学んだり、タイピングスキルを習得したりできるようにし、学習に生かしていく。</p>